

鎌倉交響楽団

'97ニューイヤーコンサート

指揮 森口真司
バリトン独唱 松尾健市
司会 永井邦子



日時 / 1月25日(土) 午後2時開演

会場 / 鎌倉芸術館

後援 / 鎌倉市教育委員会

◎プログラム◎

チャイコフスキー イタリア奇想曲

ジョルダノー 歌劇《アンドレア・シェニエ》より(ジェラール)「祖国の敵か！」

ヴェルディ 歌劇《ドン・カルロ》より(ロドリゴ)「私は死んでいく」

コットラウ(森口真司 編曲)《サンタ・ルチア》

カプア(森口真司 編曲)《オー・ソレ・ミオ》

クルティス(森口真司 編曲)《帰れソレントへ》

チレア 歌劇《アドリアーナ・ルクヴルール》より(ミシヨネ)「さあモノローグだ」

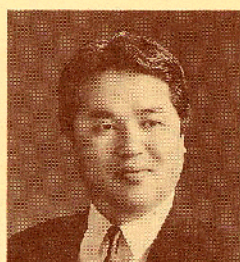
ブッチーニ 歌劇《トスカ》より(スカルピア)「行け、トスカ！」

..... ◇ 休 憩 ◇

インスタントコンダクター・コーナー 曲目「？」

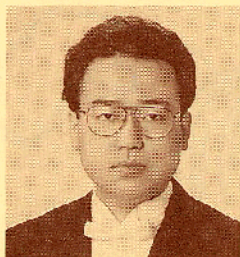
レスピーギ 交響詩《ローマの松》

出演者プロフィール



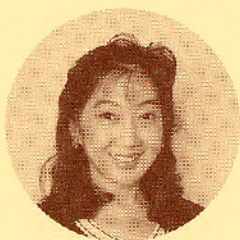
バリトン独唱：松尾健市

1957年生まれ。国立音大卒。日伊コンコルト・日本声楽コンクール・友愛ドイツリート・コンクール入選。1986年ミラノに留学。87年帰国リサイタルで好評を博す。その後3年間のサラリーマン生活を終え、90年4月「パリアッチ」でオペラ・デビュー。「カルメン」を初め、オペラ、ミュージカル、コンサート活動にも積極的に取り組み、国内のみならずヨーロッパを初め海外でも活躍。95年にはニューヨーク・カーネギーホールでのコンサートに出演、現地紙で絶賛される。二期会会員、日本演奏家連盟会員、ぐるーぷなべ会員。



指揮：森口真司

6歳よりピアノを始め、京都大学文学部在学中から指揮を田中良和氏に師事。その後東京芸術大学卒。同大学大学院音楽研究科修了。指揮法を遠藤雅古、F.トラヴィス、若杉弘、ピアノを角野裕、和声法を広瀬量平の各氏に師事。95年5月「プラハの春 国際音楽コンクール指揮部門で第3位受賞(1位なし)。プラハ放送交響楽団を指揮し、FM東京で放送される。これまでに名古屋フィルほか全国各地のオーケストラに客演、好評を博す。オペラにも積極的に取り組み、これまでに「ドン・ジョバンニ」「魔笛」「アルルの女」ほかを上演。



司会：永井邦子

武蔵野音楽大短大卒。NHK横浜放送局・ラジオ日本でアシスタント・キャスターを、また神奈川フィルハーモニー・群馬交響楽団・鎌倉交響楽団などプロ・アマのオーケストラの司会、各種シンポジウムの司会を務めている。

賛助出演／ピアノ：丹生谷佳恵 オルガン：武居良子 チェレスタ：岩瀬彩子 ハープ：杉山敦子
トランペット：松田浩則 安田文孝 真野大典

■今回の演奏会にあたり、浜野考志、桑原正人、高山泰利、三矢幸子(順不同)の諸先生にもご指導いただきました。

曲目紹介

■イタリア奇想曲 P.チャイコフスキー (1840-93)

かのゲーテを初めとして、イタリアの太陽に代表される明るさに精神的活力を見出した芸術家は数多くいますが、結婚生活の破綻から神経衰弱に陥っていたチャイコフスキーもその一人でした。この作品には、作曲家がローマ滞在中に耳にしたファンファーレやイタリア民謡などが盛り込まれており、生き生きとした作品となっています。

□歌劇《アンドレア・シェニエ》より「祖国の敵か！」 U.ジヨルダノー (1867-1948)

フランス革命を舞台に、ロバスピエールの恐怖政治を批判して死刑となった実在の詩人アンドレア・シェニエと令嬢マッダレーナとの恋を描いた歌劇です。彼女に心を寄せていたジェラールが迷い苦しみながらシェニエの告発状を書く場面で歌うアリアがこの「祖国の敵か！」です。

□歌劇《ドン・カルロ》より「私は死んでいく」 G.ヴェルディ (1813-1901)

この歌劇は、16世紀のスペイン国王フェリペⅡ世の新しい妃エリザベッタに想いを寄せる王子ドン・カルロが、国王に2人の仲を疑われ宗教裁判にかけられる悲劇です。このアリアは、王子の代わりに命を差し出したロドリゴによって第3幕第2場で歌われます。

□《サンタ・ルチア》(1850) 《オー・ソレ・ミオ》(1898) 《帰れソレントへ》(1904)

“カンツォーネ”の名で日本でも親しまれている3曲、T.コットラウ(1827-79)によって書かれた、守護神と土地そのものを讃えた歌《サンタ・ルチア》(1850)、ディ・カプア(1864-1917)によって書かれた、恋人を太陽に例えた歌《オー・ソレ・ミオ》(1898)、デ・クルティス(1875-1937)による恋人を待ちわびる歌《帰れソレントへ》(1904)をお届けします。

□歌劇《アドリアーナ・ルクヴルール》より「さあモノローグだ」 F.チレア (1866-1950)

17世紀末、実際にパリの舞台で活躍していたフランスの人気女優アドリエヌ・ルクヴルールを題材に、彼女とマウリツィオとブイヨン后妃との三角関係を描いた歌劇です。「さあ…」は、アドリアーナの舞台を袖で見守る心優しき舞台監督ミショネのアリアです。

□歌劇《トスカ》より「行け、トスカ！」 G.プッチーニ (1858-1924)

1800年のローマを舞台に、死刑を宣告された恋人の画家カラヴァドッシを助けようとする歌手のトスカの悲劇を描いた歌劇です。この歌は、第1幕でトスカの嫉妬をあおっておとしいれようとする邪悪な警視總監スカルビアによって教会で歌われます。

■交響詩《ローマの松》 O.レスピーギ (1879-1936)

この曲はローマの栄枯盛衰を、何世紀にもわたって見つめてきた松—とりわけローマの代表的な地域にある松—を水先案内人として、様々なイメージを描いた交響詩です。作品の中には、グレゴリオ聖歌や教会旋法といった古い時代の要素が近代的な管弦楽法の衣をまとって用いられています。子どもたちの遊ぶ「ボルゲーゼ荘園の松」、聖歌の聞こえる「カタコンブ近くの松」、夜の「ジャンニコロの松」、軍隊の行進する「アッピア街道の松」の4つの部分から成りますが、途切れずに演奏されます。
(小野 光子)

□録音室内楽演奏会 2月23日(日) 午後2時開演 鎌倉中央公民館 入場無料

□第69回定期演奏会「英雄」他 5月24日(土) 午後2時開演 鎌倉芸術館 全自由席1000円 近日発売！

西洋菓子

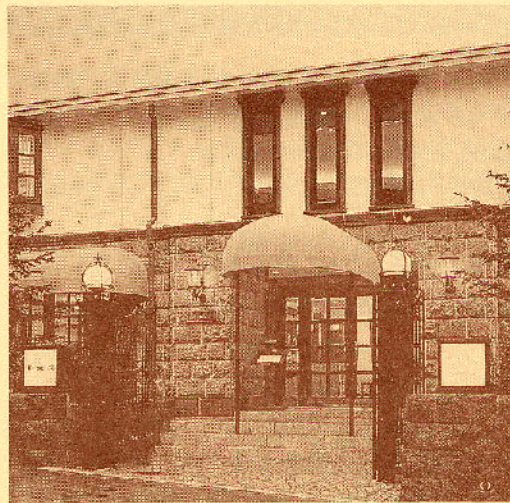
心をこめた手作り菓子、歐林洞西洋菓子コーナー。
日々のお菓子、贈答菓子もご用意いたしております。

デザート茶房

デザート菓子と紅茶、香り高いコーヒーでやさしい
ひと時をお過ごしいただくティー・サロン。
季節の料理菓子（デリカ）もご用意いたしました。

欧林洞サロン

趣味の会、記念会、おさらい会、ご結婚披露パーティー、ご法事
等のお集まりにご利用いただいております。
欧林洞主催の定期サロン音楽会、小さな鎌倉音楽祭の催し会場に
もなっております。



鎌倉 欧林洞

営業時間 10:00am - 7:00pm (月曜日・定休)
(駐車場10台可)

神奈川県鎌倉市雪ノ下2-12-18

TEL 0467-23-8838

県立近代美術館別館右前